

# ===== スクリーンキャプチャ by のんきよね =====

この度は、「スクリーンキャプチャ」をダウンロードいただき、誠にありがとうございます。このツールは、PC画面の指定した範囲を画像として手軽に保存するためのフリーソフトウェアです。

## 概要

半透明なウィンドウでキャプチャ範囲を指定し、スクリーンショットを撮影するシンプルなツールです。マルチモニターや異なるDPI環境でも、見たままの範囲を正確にキャプチャできます。

## 動作環境

- Windows 11
- .NET Framework 4.8 以上
- インターネット接続 (Keyless署名検証時のみ必要)

## 主な機能

- 範囲指定キャプチャ: 半透明ウィンドウでキャプチャ領域を直感的に指定可能
- マルチモニター対応: 複数モニター環境でも正常に動作
- タイマーキャプチャ: 1秒/3秒/5秒/10秒/30秒間隔で自動スクリーンショット
- カスタマイズ機能:
  - 背景色 (8色)・透明度 (7段階)
  - 保存形式 (PNG/JPG) の変更可能
- クリップボードコピー: キャプチャした領域をクリップボードにコピー可能
- 設定の自動保存: ウィンドウの位置やサイズ、各種設定を自動保存

## インストール方法

1. ダウンロードしたZIPファイルを右クリック→プロパティ
2. 「全般」タブのセキュリティ欄で「☒許可する(K)」を選択
3. ZIPを任意のフォルダに解凍
4. [ScreenCapture.exe](#)を実行

## 初回実行時の注意

本ソフトウェアは個人開発のフリーソフトのため、コード署名を行っておりません。Windows Defenderの警告が表示される場合は、以下の手順で許可してください:

- 右クリック→プロパティ→「全般」セキュリティ欄で「☒許可する(K)」を選択

## 使い方

### 基本操作

1. `ScreenCapture.exe`を起動
2. ウィンドウの操作:
  - 移動: ウィンドウ内をマウスの左ボタンでドラッグ
  - サイズ変更: `Ctrl`+矢印キー (`↑↓←→`)
3. キャプチャの実行:
  - 右クリックメニューから「キャプチャ」
  - または、ショートカットキー `Ctrl + C`
4. 各種設定: 保存先、背景色、透明度、保存形式、タイマーキャプチャ、クリップボードコピー等
5. 終了: 右クリックメニュー「終了」または、`ESC`キー

### トラブルシューティング

起動してもアプリが表示されない場合 `ScreenCapture.exe.config`の座標設定が画面外になっている可能性があります。以下の設定に変更して保存してください:

```
<add key="BoundsX" value="100" />
<add key="BoundsY" value="100" />
<add key="BoundsWidth" value="800" />
<add key="BoundsHeight" value="600" />
```

---

### 設定ファイルについて

`ScreenCapture.exe.config`ファイルをテキストエディタで編集することで設定変更が可能です。基本的にはアプリケーションの右クリックメニューから変更することを推奨します。

### 主な設定項目

```
<!-- ウィンドウ位置・サイズ -->
<add key="BoundsX" value="100"/>
<add key="BoundsY" value="100"/>
<add key="BoundsWidth" value="800"/>
<add key="BoundsHeight" value="600"/>
```

```
<!-- 保存先パス(空の場合はデスクトップに保存) -->
<add key="OutputPath" value=""/>
<!-- 外観設定 -->
<!-- 背景色: Black, White, Red, Green, Blue, Yellow, Cyan, Magenta -->
<add key="Color" value="Red"/>
<!-- 透明度: 0.1~0.7 -->
<add key="Opacity" value="0.2"/>
<!-- 保存形式: Png, Jpg -->
<add key="ImageFormat" value="Png"/>
<!-- 機能設定 -->
<!-- クリップボードコピー 有無 -->
<add key="saveClipboard" value="True"/>
<!-- キャプチャ後画像表示 有無-->
<add key="captureView" value="false"/>
<!-- ファイル名プレフィックス -->
<add key="filePrefix" value="scr"/>
```

#### OutputPath設定例:

```
<add key="OutputPath" value="C:\\Users\\YourName\\Pictures\\Captures"/>
```

※パスの区切り文字は\\と記述してください

## アンインストール方法

1. フォルダごと削除するだけで完全にアンインストール可能

本ツールはレジストリ等、PC環境に設定情報を一切書き込みません。フォルダを削除するだけで、安全かつ完全にアンインストールできます。

## セキュリティ・安全性について

このソフトウェアは以下の点で安全性を確保しています:

- ネットワーク通信を行いません
- レジストリを変更しません
- システムファイルにアクセスしません
- ユーザーデータを外部送信しません

## VirusTotal検証結果

- **VirusTotal**結果:  
<https://www.virustotal.com/gui/file/a503e09b0840d6efc07d59223668a6ae0c59893a6451f4b612ec351cc4f8e7a3?nocache=1>
- **SHA256**ハッシュ値:  
a503e09b0840d6efc07d59223668a6ae0c59893a6451f4b612ec351cc4f8e7a3

## Keyless署名による安全性確認

本ソフトはGitHub ActionsによるKeyless署名が付与されています。

検証に必要なファイル:

- ScreenCapture.exe
- ScreenCapture.exe.bundle
- cosign-windows-amd64.exe  
(<https://github.com/sigstore/cosign/releases/download/v2.5.3/cosign-windows-amd64.exe>)

検証環境:

- PowerShell 7 以上 (Windows では 7.5 推奨)
- インターネット接続必須

検証手順: 以下の内容を **runcosign.ps1** として保存し、PowerShellで実行してください:

```
$cosign = "C:\Tools\cosign-windows-amd64.exe"
$exePath = "C:\Download\ScreenCapture.exe"
$bundlePath = "C:\Download\ScreenCapture.exe.bundle"

& $cosign verify-blob `
  --bundle $bundlePath `
  --certificate-identity-regex `
  "https://github.com/nonkiyone/ScreenCapture/.github/workflows/sign.yml@refs/heads/.*" `
  --certificate-oidc-issuer-regex "https://token.actions.githubusercontent.com" `
  $exePath
```

検証成功時の出力: **Verified OK**

## 更新履歴

- **Ver 1.2 (2025/09/06)**
  - キャプチャ後の画像の表示/非表示を設定可能に
  - キャプチャ画像のファイル名先頭文字列を設定可能に
  - キャプチャ画像が保存されるフォルダを開く機能をコンテキストメニューに追加
  - キャプチャ座標保持した座標値に切り替える機能を追加

- **Ver 1.1 (2025/08/24)**
  - タイトルバーを表示しないように機能改善
  - 最小化したまま閉じた場合、再度起動すると表示できなくなる不具合を修正
- **Ver 1.0 (2025/08/19)**
  - 初回リリース

## 著作権および連絡先

=====

Copyright © 2025 のんき All Rights Reserved.

作者: のんき(のんきよね)

サイト: のんきの日記 (<https://www.nonki.coffeebittersweet.net/>)

=====

---

最後までお読みいただき、ありがとうございました。